

熊本県地域防災計画検討委員会  
「平成23年度 第1回広域連携・情報等検討部会」  
「平成23年度 第1回避難支援検討部会」

次 第

日時：平成23年8月29日（月）13:00～

場所：ホテル熊本テルサ 3階 たい樹

1 開 会

2 委員紹介

3 部会長挨拶

4 議 題

(1) 東日本大震災で明らかになった課題とその対応について

(2) 今後の進め方について

(3) その他

5 閉 会

**熊本県地域防災計画検討委員会  
広域連携・情報等検討部会 部会委員**

《学識経験者委員》

(50音順)

氏名	所属	備考
柿本 竜治	熊本大学	
北園 芳人	熊本大学	
北原 昭男	熊本県立大学	部会長
松田 泰治	熊本大学	
山田 文彦	熊本大学	

《防災関係機関委員》

(熊本県防災会議委員名簿区分順)

氏名	機関名	備考
坂上 卓	熊本海上保安部	(代理) 警備救難課 中里課長
澤崎 伸二	陸上自衛隊第8師団	(代理) 第3部防衛班 岩男班長
吉村 郁也	熊本県警察本部	
橋本 孝	熊本市消防局	
吉村 勝幸	熊本市	
牧野 俊彦	熊本県	

**避難支援検討部会 部会委員**

《学識経験者委員》

(50音順)

氏名	所属	備考
井 清司	熊本赤十字病院	
柿本 竜治	熊本大学	
松田 泰治	熊本大学	
八ッ塚 一郎	熊本大学	
山田 文彦	熊本大学	
和田 要	熊本学園大学	部会長

《防災関係機関委員》

(熊本県防災会議委員名簿区分順)

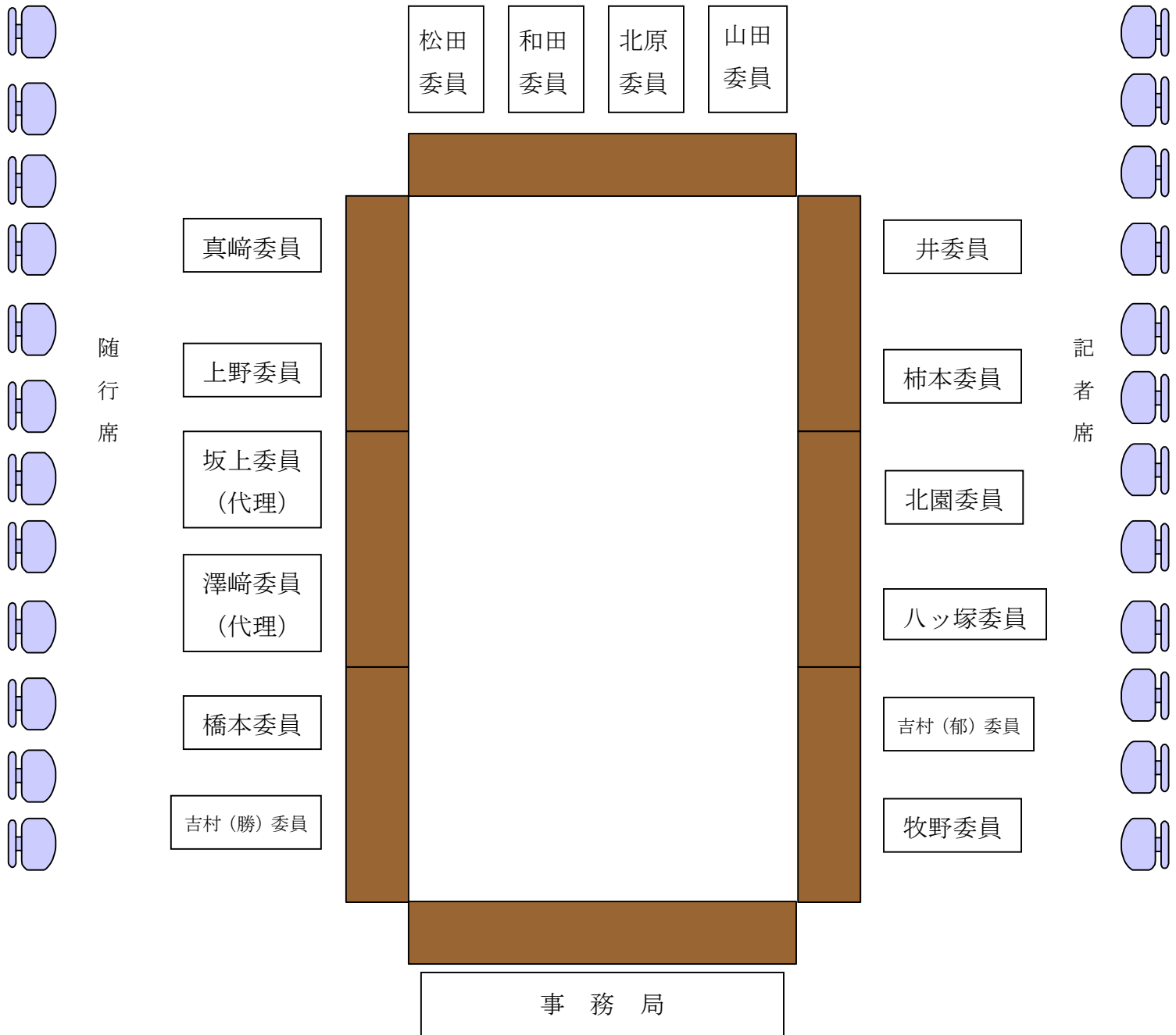
氏名	機関名	備考
坂上 卓	熊本海上保安部	(代理) 警備救難課 中里課長
澤崎 伸二	陸上自衛隊第8師団	(代理) 第3部防衛班 岩男班長
吉村 郁也	熊本県警察本部	
吉村 勝幸	熊本市	
真崎 俊男	NHK熊本放送局	
上野 祐嗣	熊本日日新聞社	
牧野 俊彦	熊本県	

**熊本県地域防災計画検討委員会**  
**「平成 23 年度 第 1 回広域連携・情報等検討部会」**  
**「平成 23 年度 第 1 回避難支援検討部会」**

**配 席 図**

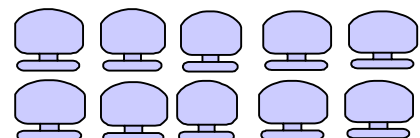
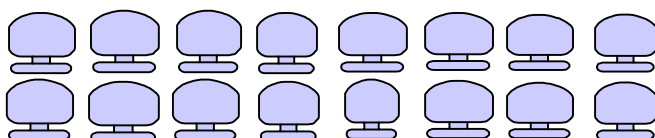
日時：平成 23 年 8 月 29 日（月）13:00～

場所：ホテル熊本テルサ 3 階 たい樹



庁内関係課席

傍聴席



## 熊本県地域防災計画検討委員会の検討の進め方について

### 1 経緯

熊本県地域防災計画検討委員会は平成 23 年 5 月 26 日に第 1 回委員会を開催し、今後の検討の進め方について、検討テーマが多岐に亘ることから「部会に分けて検討を進めていく」ことを決定し、次の 3 つの検討部会を設置。

### 2 検討部会の委員構成と検討テーマ

#### ●地震・津波被害想定検討部会

《委員構成》◎山田委員、北園委員、北原委員、松田委員、池田委員、坂上委員、橋本委員、吉村（勝）委員、牧野委員

《検討テーマ》○地震及び津波の規模並びに被害想定（地震・津波被害想定調査委託事業の進行管理）

#### ●広域連携・情報等検討部会

《委員構成》◎北原委員、柿本委員、北園委員、松田委員、山田委員、坂上委員、澤崎委員、吉村（郁）委員、橋本委員、吉村（勝）委員、牧野委員

《検討テーマ》○情報伝達体制、情報収集体制

○県・市町村をまたがる広域避難への対応体制

○自主防災組織の編成促進、充実強化等地域の防災力向上

○原子力発電所事故への対応体制

○災害時の行政機能の維持体制

#### ●避難支援検討部会

《委員構成》◎和田委員、井委員、柿本委員、松田委員、八ッ塚委員、山田委員、坂上委員、澤崎委員、吉村（郁）委員、吉村（勝）委員、真崎委員、上野委員、牧野委員

《検討テーマ》○住民避難支援体制

○災害時の緊急救助及び保健医療体制

○ボランティアの活動支援及び協力体制

○復旧に向けた取組体制

## 各検討テーマに関する東日本大震災で明らかになった課題と当面の対応策（案）

## 【基本的な考え方】

- 本県で起こりうる地震及び津波の規模並びに被害想定について、平成23年度及び平成24年度に調査を実施し、その結果を踏まえて、県地域防災計画の見直しを行う。
- 一方、大規模かつ広域的な災害への対応体制や住民避難体制等については、できることから実行に移す必要があることから、当面、東日本大震災における被害状況等を参考に、対策を進める。

## 【各検討テーマに関する東日本大震災で明らかになった課題と当面の対応策（案）】

検討テーマ	東日本大震災で明らかになった課題	課題を踏まえた検討の視点	当面の対応策（案）
広域連携・情報等検討部会			
A 情報伝達体制、情報収集体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●津波情報が住民に正確・迅速に伝わらなかった。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象庁予想津波高情報の変更（3m→6m→10m超へ）</li> <li>・防災行政無線が被災して故障</li> <li>・防災対策庁舎が被災し、職員も被災</li> <li>・住民に避難を呼びかける消防団車両が被災</li> </ul> </li> <li>●被災自治体との情報連絡が不全               <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災市町村と県との連絡が一時不通</li> <li>・携帯電話の通話規制</li> <li>・通信施設への電源供給が途絶えた</li> <li>・道路、交通機関が被災し、交通が遮断</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害に強く、住民へ確実・迅速・正確に伝わる情報伝達手段の確保</li> <li>○通信や交通アクセスが被災した場合の情報収集手段の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住民への多様な情報伝達手段（J-ALERT、防災行政無線、サイレン、携帯一斉メール、Web、衛星電話、有線放送、コミュニティFM、広報車、消防団等）の確保、活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災情報メールサービスの登録促進</li> <li>・エリアメールの活用促進</li> </ul> </li> <li>②避難勧告等発令基準の速やかな策定</li> <li>③通信設備の電源確保、停電対策の実施</li> <li>④警察、消防、自衛隊等実動機関との情報収集体制の整備</li> </ul>
B 県・市町村をまたがる広域避難への対応体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広域避難者の情報把握が困難               <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体への（からの）避難者の出入把握が困難</li> <li>・避難者への情報連絡が困難</li> <li>・避難者の支援や情報把握に関する自治体間の連携体制</li> </ul> </li> </ul>	○広域避難に関する自治体間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>①広域避難に関する自治体間の連携体制のルール化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国避難者情報システムへの登録呼びかけなど避難者の情報把握方法</li> <li>・避難者への情報連絡方法</li> <li>・支援物資の提供方法</li> <li>・隣接県との連携体制の検討 等</li> </ul> </li> </ul>
C 自主防災組織の編成促進、充実強化等地域の防災力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信、交通手段等の途絶により、行政や防災関係機関の活動能力が低下               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民による自助、共助活動が必要</li> </ul> </li> </ul>	○自主防災組織の育成等による自助、共助意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自主防災組織の育成促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダー育成</li> </ul> </li> <li>②住民に対する防災知識の普及啓発</li> </ul>
D 原子力発電所事故への対応体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事故発生の情報連絡・伝達の迅速・円滑化</li> <li>●放射性物質の放出の影響等により、住民の避難が広域化、長期化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報収集・連絡体制の整備</li> <li>○県内及び県外への避難体制の整備</li> <li>○県外からの避難者の受入体制の整備</li> <li>○環境監視、食品監視体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報収集・連絡体制の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者、原子力発電所立地自治体、関係市町村、防災関係機関等</li> </ul> </li> <li>②住民避難体制の整備</li> <li>③環境監視体制、食品監視体制の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・資機材、医薬品の配置等の検討</li> </ul> </li> </ul>

検討テーマ	東日本大震災で明らかになった課題	課題を踏まえた検討の視点	当面の対応策（案）
E 災害時の行政機能の維持体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害対応に当たる市町村の壊滅的な被害による災害対策本部機能の喪失又は著しい低下               <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員（首長、管理職を含む）の被災</li> <li>・庁舎の滅失</li> <li>・戸籍、住民基本台帳等の住民情報の喪失</li> <li>・業務量の急増等による職員の疲労度、ストレス増</li> </ul> </li> </ul>	○市町村災害対策本部機能の維持・確保	<ol style="list-style-type: none"> <li>①市町村本庁舎が被災した場合を想定した対策の検討</li> <li>②被災想定に応じた災害発生時の組織人員体制の検討及び発生業務量、必要職員数、資機材等の見積もり</li> <li>③被災市町村から応援要請があった場合に即応できる職員派遣体制等の整備</li> <li>④同時被災のおそれの少ない遠隔地自治体等との災害時相互応援体制の整備</li> <li>⑤住民基本情報等のバックアップ体制の整備</li> </ol>

避難支援検討部会

F 住民避難支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急避難場所の確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置、場所</li> <li>・耐震性、安全性</li> <li>・適切な住民誘導</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水害、土砂崩れ、津波等、災害の特性に応じた緊急避難場所の確保</li> <li>○耐震性、安全性の確保</li> <li>○住民誘導手段の検討</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①水害、土砂崩れ、津波等、災害の特性に応じた現避難所の緊急避難場所としての区分け</li> <li>②新たな緊急避難場所（避難ビル、高台、高架構造物等）の指定</li> <li>③避難路の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の特性に応じた緊急避難場所までのルート検討等</li> </ul> </li> <li>④現避難所の耐震性・安全性の点検の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検により必要となった緊急避難場所の耐震補強等</li> </ul> </li> <li>⑤防災マップの普及促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現防災マップの点検、見直し</li> <li>・未作成の市町村等では、早期作成</li> </ul> </li> <li>⑥自主防災組織等を活用した住民誘導の検討</li> </ol>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難所の確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>・安否情報など避難所に関する情報の適切な発信</li> <li>・避難が長期化した場合の対策</li> <li>・支援物資の受入、配布体制の構築</li> <li>・感染症対策</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安否情報などの適切な発信体制</li> <li>○避難が長期化した場合の対策</li> <li>○男女共同参画の視点</li> <li>○支援物資の受入れ及び配布体制の整備</li> <li>○感染症対策の構築</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①安否情報システムへの速やかな登録体制の整備</li> <li>②長期避難への対応整備（教育施設をどのように位置づけるか）</li> <li>③避難者の体調、栄養管理ができる医療関係者の配置検討</li> <li>④プライバシー確保のための方策</li> <li>⑤男女共同参画の視点の確保</li> <li>⑥物資集配のノウハウがある民間事業者（宅配業・倉庫業等）との協力体制</li> <li>⑦支援物資集積場の選定、確保</li> <li>⑧支援物資ニーズ、供給のマッチング制度の検討</li> <li>⑨避難所での感染症対策</li> </ol>

検討テーマ	東日本大震災で明らかになった課題	課題を踏まえた検討の視点	当面の対応策（案）
(住民避難支援体制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時要援護者等への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者等の把握</li> <li>・災害時要援護者等名簿の情報共有</li> <li>・災害時要援護者等に対する支援者の確保</li> </ul> </li> </ul>	○災害時要援護者の把握、避難・支援の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①災害時要援護者名簿等の関係機関との情報共有体制の整備</li> <li>②（災害時要援護者避難支援）個別計画の早期策定とフォローアップ</li> <li>③平常時の見守り体制の整備</li> <li>④福祉避難所の指定</li> <li>⑤避難所における障がい者等に配慮した生活支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化</li> <li>・生活相談</li> </ul> </li> </ul>
	●水食料、燃料等の備蓄、配給体制の確保	○大規模災害でも対応可能な災害備蓄物資の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①災害備蓄物資の量、質等の点検・見直し</li> <li>②市町村備蓄物資の相互供給体制の構築</li> <li>③食料事業者、コンビニ事業者からの供給体制の構築</li> </ul>
	●自宅避難者、仮設住宅入居者への物資支援体制の確保	○自宅避難者、仮設住宅入居者への物資支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自宅避難者の把握の方法</li> <li>②支援物資の供給方法の検討</li> <li>③自治体間（避難元・避難先）の情報共有</li> </ul>
G 災害時の緊急救助及び保健医療体制	●緊急救助における各機関ヘリコプターの連携体制の確保	○緊急救助における各機関ヘリコプターの連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各機関からの応援ヘリの県全体の調整体制の検討</li> <li>②警察・消防・自衛隊等実動機関からの円滑な情報収集及びヘリ関係機関への情報提供体制の検討</li> <li>③防災訓練への複数県のヘリコプター参加</li> </ul>
	●災害発生後の医療機関等の連携確保	○災害発生直後の救命救急医療の確保 ○災害発生早期から一定期間の切れ目ない医療の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>①DMATの派遣調整方法と役割の検討</li> <li>②防災訓練等への県内・県外DMAT参加</li> </ul>
	●避難所における保健医療の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患、慢性疾患患者への対応</li> <li>・災害ストレス患者への対応</li> </ul>	○避難所における保健医療の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性疾患患者等の対応</li> <li>・こころのケアの体制整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①精神保健専門家を含めた災害医療体制の検討</li> <li>②保健医療支援の継続性の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者情報（カルテ）の円滑な引継ぎ方法の検討</li> <li>・保健医療派遣職員との円滑な引継ぎのため、慢性疾患患者への通院・服薬記録作成等の教育の実施</li> </ul> </li> <li>③こころのケア訓練の実施</li> </ul>

検討テーマ		東日本大震災で明らかになった課題	課題を踏まえた検討の視点	当面の対応策（案）
	(災害時の緊急救助及び保健医療体制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医薬品の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品備蓄</li> <li>・医薬品備蓄倉庫から診療所・避難所までの供給ルートの確立</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模災害に応じた医薬品備蓄</li> <li>○大規模災害時の医薬品供給体制整備</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①現在の備蓄医薬品の質・量の点検、見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患、慢性疾患患者等に必要な医薬品の検証 等</li> </ul> </li> <li>②医薬事業者との協力体制</li> <li>③医薬品を必要とする避難者の把握手段の検討、構築</li> <li>④医療ボランティアの育成</li> </ol>
H	ボランティアの活動支援及び協力体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●被災地ニーズとボランティアとのミスマッチの回避</li> <li>●ボランティアと行政等との役割分担、連携体制</li> <li>●ボランティア活動に対するボランティアの理解不十分 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己責任による移手段、宿泊場所等の確保</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティアセンターの体制整備</li> <li>○ボランティアセンターにおける情報収集</li> <li>○ボランティアと行政等との役割分担、連携体制の確認</li> <li>○ボランティア活動に対する正しい知識の普及</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①平常時からの災害ボランティアセンターの設置訓練</li> <li>②被災者ニーズ把握方法の構築</li> <li>③行政機関や県内ボランティアセンター及び関係事業者等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市町村社協間の協力体制</li> <li>・ボランティア活動のための公共施設敷地の使用等</li> <li>・県外からの受け入れ</li> </ul> </li> <li>④ボランティアの育成、啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己責任、自己完結型</li> </ul> </li> <li>⑤ボランティアコーディネーターの育成</li> </ol>
I	復旧に向けた取組体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仮設住宅等の早期供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の仮設住宅が必要</li> <li>・被災地から遠く離れた場所に設置されたところもある。</li> </ul> </li> <li>●大量のがれきやごみの処理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮置場の確保</li> <li>・処理場の確保</li> <li>・処理期間の長期化</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要用地の確保</li> <li>○建設資材の確保体制</li> <li>○多様な仮設住宅等の確保</li> <li>○仮設住宅における日常生活用品の確保体制</li> <li>○がれき等の仮置場の確保</li> <li>○処理場の確保</li> <li>○1次処理、2次処理など段階的な処理場の確保</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①仮設住宅必要用地の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応できる公共用地のリストアップ、設置可能棟数等の検討</li> <li>・大規模駐車場の一時借上げ等の民間用地の活用方策</li> <li>・資材関係団体等との協力体制</li> </ul> </li> <li>②旅館・ホテル等の宿泊施設の活用</li> <li>③公営住宅・民間賃貸住宅の活用</li> <li>④住宅関係団体との協力体制</li> <li>⑤スーパーマーケット、コンビニ事業者等との協力体制</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①がれき等の仮置場の選定、確保（駐車場等の一時借上げ）</li> <li>②廃棄物処理能力の点検</li> <li>③他県及び関係団体（産廃協会、建設業協会等）との廃棄物処理に関する協力体制</li> <li>④1次処理、2次処理など段階的な処理場用地の選定</li> </ol>



今後の進め方について（案）

【広域連携・情報等検討部会】 / 【避難支援検討部会】

平成23年度

第1回 8月29日 【合同開催】

○東日本大震災で明らかになった課題とその対応について

（11月頃）

○県地域防災計画の当面の見直し骨子（案）について

（2月頃）

○県地域防災計画の当面の見直し（案）について

平成24年度

（10月頃まで）

○（地震・津波被害想定調査の中間とりまとめを踏まえた）県地域防災計画の見直し（案）について

（2月頃まで）

○（地震・津波被害想定調査の全体とりまとめを踏まえた）県地域防災計画の見直し（案）について